



節電照明に注意を 風営法で定めた

「計る部分」と「数値」

夏の電力使用制限令が解除されても、今度は暖房需要で電力不足が予想されており、まだまだ節電努力が必要とされる日々が続きます。ですが、その節電対策として店内照明を間引くという時には、風営法違反にならないように注意が必要です。

風営法第十四条（照度の規制）

で、風俗営業者は、国家公安委員会規則で定めるところにより計った営業所内の照度を、風俗営業の種類に応じて国家公安委員会規則で定める数値以下としてその営業を営んではならないとなっております。施行規則第二十九・三十条には、「計る部分」と「数値」が規定されております。計る部分は①営業所に設置する遊技設備の前面又は上面、②いすがある客席、遊技設備に対応するいすの座面及び当該座面の高さにおける客の通常利用する部分、③いすがない客席、客

の通常利用する場所における床面、④通常賞品の提供が行われる営業所の部分と規程されており、規定された場所の水平面を計ることとなっており、数値は10ルクス以下だと違反になります。

うっかりミスに注意

ゴト犯罪とは関係のない話から始まった第3回目ですが、実は弊社が取り組んでいるのはゴト犯罪対策だけではなく、広い意味でのパチンコ店の利益保護と言う観点

から風営法の遵守に関するサポートも行っております。営業努力の中で忘れがちになる風営法の遵守事項ですが、ここ数年うっかりミスから行政処分を受けてしまうケースが散見しているので注意が必要です。ゴト対策部品を取付けて変更届の提出を出し忘れたりすることのないように、風営法を遵守した上でのゴト対策の実施をお願い致します。

被害に気付いても 故障として処理し 届けを出さぬ体質

さて、前回は埼玉県警に逮捕された中国人ゴトグループの手際の良さと犯行時間が短いことについて触れましたが、このゴトグループは犯行がバレないようにする為に、最短時間で取り付けて現場を離れる！という掟があったようで、不正部品を仕掛けるのも1店舗で1台のみと決めていたそうです。

このゴトグループによる犯行でパチンコ店からの被害届がゼロ件だったというのも、その犯行の掟に従っていた故に被害店舗が気がつかなかったのかもしれませんが、

ゴトに勝つ 3 高石隆一 接客ですぐ気付く感性和 インカムでの連絡徹底を

もうひとつの原因として、ゴト被害に気がついても遊技機の故障として処理して、被害届を出さない古い業界体質の店舗が未だ多数存在していることにもあると思います。

今回の摘発は、埼玉県のある繁華街にたむろする不良外国人を県警がマークしたところ、この不良外国人が日本人らと合流して不審な動きを見せたため、内定の末に摘発に踏み切ったというのですが、もし、埼玉県警が動いていなければ、このゴトグループの毒牙にかかる店舗は増え続けていたことでしょう。

管理責任果たす 当然の義務として 定期的な点検確認を

営業中に不正部品(ゴト部品)を仕込むケースに対応するには、定期的な遊技機の安全点検確認検査の実施とその検査結果の証拠書類を残しておくことが重要です。

万が一に不正部品が仕込まれていた時に、前回の検査から今回の検査までの間の期間が犯行時期となり、被害届を出す際の目安とな

ります。

また、公安委員会からの風営法許可業者として、お客様に正常な遊技機を設置して遊んで頂くということは当然の義務であり、何かあった場合に管理責任が問われる重要なポイントなので、定期的な遊技機の安全点検確認検査は是非実施して下さい。

この定期的な遊技機の安全点検確認検査から不正部品が発見されるケースが多いのですが、弊社としてはこの定期的な検査での発見では無く、ホールスタッフの接客

遊技機を開けてゴトを実行する者を隠すように壁役が立つ



力によるゴト被害の早期発見を目標としています。

急に多数入店など スタッフを知っても そこまでは

仕込み系のゴトを行う際には、最低でも4人から8人くらいのグループで行動するケースが多く、まず「実行犯」が狙っているパチンコ台に座り、その際に2人の「壁役」が実行犯の左右に陣取って犯行時に死角を作り、瞬時に不正部品を仕掛けます。残りのメンバーは、ホールスタッフが発行現場にやっつこないように自分に引き付ける「キャッチ役」や「見張り役」になります。

このように統率がとられた連携プレイによって犯行が短時間で行われるために、被害に気がつかないケースが多くなっているのですが、過去に被害に遭った店舗でホールスタッフへ聞き取り調査してみると幾つかのポイントが見えてきました。

そのポイントとは、短時間の間に見慣れないお客様が急に多数入店してきた、というものです。また、あるスタッフによると、今まで空いていた島が見慣れないお客様で急に埋まった、というものもあります。このような感想を言うホールスタッフの多くは、いずれも接客力が高く、そのお店の顔と言っても良いほどの笑顔でお客様とアイコンタクトをとっているホールスタッフです。ところが、せっかくなので気がついていてもも拘わらず、みすみす被害に遭ってしまったのは、とても残念なことです。ゴト犯罪とは頻繁に発生するものではないので、ホールスタッフにとっては自分には関係のないものという意識で働いている人が多いのが現実なのですが、そんなホールスタッフへゴト犯罪の実情を伝えて、防犯意識を植え付けることが大切な取り組みだと思います。とある人気ドラマではありませんが、ゴトは会議室で起きているのではありません！現場で起きているのです！経営者や役職者の方だけがゴト情報に詳しくても、ゴト犯罪を未然に防ぐことにはつながりません。

見慣れない客には アイコンタクトと 笑顔で声をかける

「見慣れないお客様が急に多数入店してきた」というケースでは、すぐにインカムを入れて「見慣れないお客様」に対して全スタッフで接客を徹底することを推奨しております。アイコンタクトをとる、笑顔で声かけ接客をする、という接客スタイルの徹底は、ゴト犯罪を行うおとする輩にとつて、かなりやりにくい空間になります。

例えば、他スタッフからインカム連絡の後に、見慣れないお客様から不自然な質問攻めにあつたという場合、キャッチ役に捕まった可能性にも気がつきやすくなります。また、その見慣れないお客様達が短時間で退店して行った場合は、スタッフの見えないところで悪さをしていった可能性も考えられるので、監視カメラの映像を確認してみようということにもなります。

すぐに出来るゴト犯罪対策とは、ホールスタッフの「ちよつとした気付き」を全スタッフで共有する

ためのインカム連絡なのです。そして、その「ちよつとした気付き」の感性は、毎日の接客の中で養われてくるものなのです。

悪さする輩は かならず不審な動き お客様とは違う

私は、このパチンコ業界のセキユリティーに関わる以前は、万引き対策専門の警備会社に勤務し、いわゆる「万引きGメン」といわれる警備員の指導教育責任者を担当しておりました。万引きという軽い出来心で行うイタズラとい

うイメージを持つ人もおられますが、万引きは窃盗罪という立派な犯罪行為です。ちなみにゴト犯罪も、万引きと同様に窃盗罪の適用が基本になるので、同じ犯罪カテゴリーに分類されると思っておりますが、ゴト犯罪の被害は万引きのそれとは比較にならないほど莫大な金額になります。

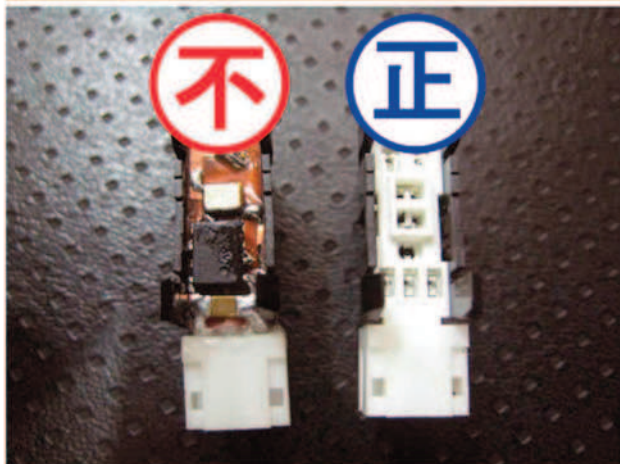
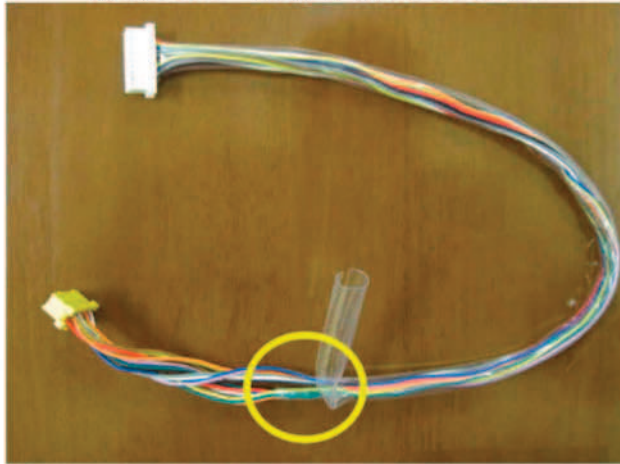
万引きをこれからしようとする輩を見つけたということは、難しいようで実は簡単なのですが、これはゴト犯罪者を見つけるのと共通する部分が多くあるので参考にして頂ければ幸いです。毎日、多数のお客様が来店する

店内で、ほんの一握りの悪さをする輩がいます。その輩を闇雲に探していても見つけ出すことはほぼ不可能です。悪さをする輩は、普通のお客様のフリをして店内にいますが、いくら普通のお客様を装っていても、物を盗もうとする意識から普通のお客様と違うしぐさや行動をとっているのです。

普通のお客様を装った万引き犯の行動として、商品のパッケージを裏にしてカゴに入れているというパターンがあります。これは、これから万引きする商品が何なのかを見られたくないという心理からの行為だと言われています。このように、いくら普通のお客様を装っていても、歩き方や目線、商品のカゴへの入れ方など、普通のお客様と違うしぐさや行動を万引き犯はしているのです。

これはパチンコ店における犯罪でも同様です。普通のお客様と違うしぐさや行動に「気付く」こと。それは、たかさんのお客様をしっかり見て接客をすることにより、何が普通なのかを身体に染み付いて感性が養われてくることで、普通のお客様を装った悪い輩が来る

パチスロ・サミー「蒼天の拳」のぶらさがりゴト器具



パチスロ・ビスティ「エヴァンゲリオン・まごころを君に」のぶらさがりゴト器具

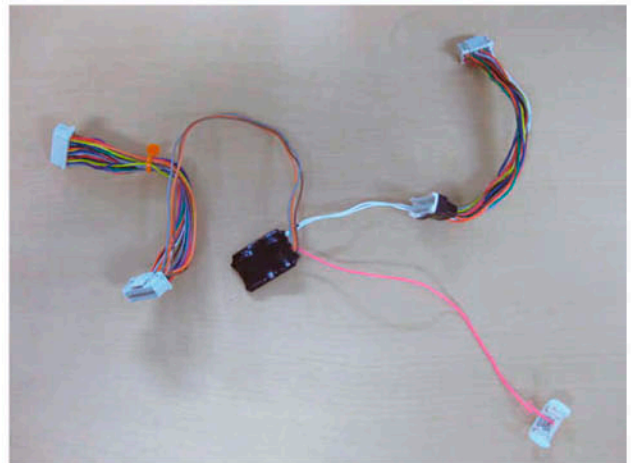
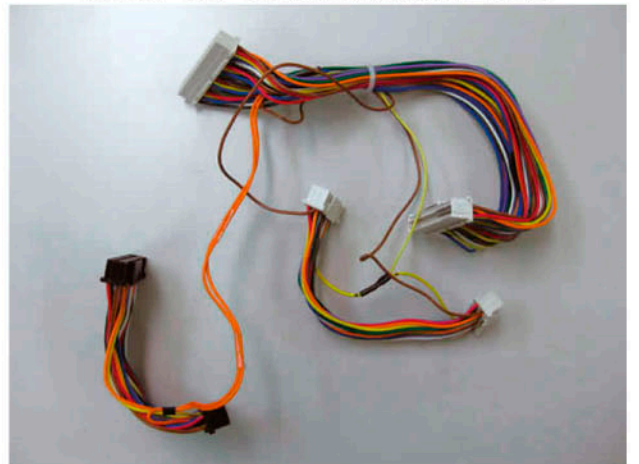
と「ちょっとした気付き」があるのです。

新たに来店した客の サンド狙いを見破る 「接客徹底」のインカム

つい先日、とあるホールであった出来事ですが、ホールスタッフが新たに来店された年配の男性のお客様へ挨拶の声をかけたところ、何か違和感を感じたのでインカム連絡を入れました。インカムの内容としては、いま来店された見慣れない年配の男性のお客様への接客徹底をお願いしますとのことでした。このお店では、見慣れないお客様は常連様になって頂くチャンスという考えで、見慣れないお客様に対していつも以上に全スタッフで接客を徹底するというルールを設けて勤務しているのです。（※裏目標として、接客によるゴト撃退という意味も含んでおりますが…）

先程のインカムを聞いた他のスタッフが、島内の通路ですれ違った際にアイコンタクトを取ろうとその年配の男性の目を見ると、その視線は現金サンドにある返却口を物色して歩いていることに気が付きました。調べてみると、この年配の男性は半年前に系列店で遊技は一切せずに返却口から現金を盗って行った輩だったのです。ホールスタッフの「気付き」により、同店では被害がなく済みました。

パチンコ・サミー「北斗の拳」のぶらさがりゴト器具



パチンコ・ニューギン「花の慶次〜斬」のぶらさがりゴト器具

せつかくの対策器具 使う人によつては 力を発揮できない

いろいろなゴト対策のセンサーや防犯グッズが売られておりますが、正しく使わなければ高いお金をかけて設置しても意味がありません。これらの器具は、ホールスタッフの「気付き」をサポートするものだと私は思います。センサーが反応しても誤発報だと決めつけて、そのまま発報を解除してゴトを逃してしまうケースをよく耳にします。道具は使う人によって、発揮する力が大きく変わります。まずはこれらの道具を使いこなせる人材の育成が一番重要なのではないでしょうか。人材ではなく、人材の育成です。

その人材育成の第一歩として、毎日たくさんのお客様をしつかり見て接客をする。「ちょっとした気付き」をスタッフ全員で共有するためにインカム連絡を徹底する。まずは、この2点から始めてはいいかがでしょうか。

今回は弊社のゴト犯罪対策セミナーのスタッフ教育のコンテンツから抜粋した部分が多くなりましたが、今年も昨年と同様に日遊協北海道支部と札幌方面遊技事業協同組合など業界四団体による健全営業推進セミナーが10月20日に札幌コンベンションセンターにて開催されます。今年度も弊社がこのセミナーのゴト犯罪対策の講師を担当致します。ホールスタッフの方たちの「ちょっとした気付き」のために、わかりやすく、役に立つ内容になるように努力致します。多くの方の来場をお待ちしております。